



多賀城創建記念
TAKAJO 1300th Anniversary
724-2024

西

神亀元年

多賀城創世記

いじぶみの譜

多賀城創建千三百年記念事業

新時代の創作オペラ

多賀城 去京一千五百里

作曲・指揮／川島素晴

演奏／仙台フィルハーモニー管弦楽団

11.4

2024年
(月・休)

14:30 開演 14:00 開場
多賀城市民会館大ホール

(多賀城市文化センター内) ※駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

入場料
(税込)

SS席 | 前売 3,500円 / 当日 4,000円
S席 | 前売 1,300円 / 当日 2,000円
学生席 | 前売・当日 500円

プレイ
ガイド

多賀城市文化センター
チケットぴあ(Pコード)
ローソンチケット(Lコード)
藤崎、七ヶ浜国際村

Pコード: 279-316

Lコード: 23033

公演内容の
詳細は
こちらから



※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。(親子室の利用はできません)

※学生席は多賀城市文化センターのみでの販売となります。

※車いすをご使用の方は多賀城市文化センターまでお問い合わせください。

チケットに関するお問い合わせ: 多賀城市文化センター

TEL.022-368-0131

公演全般に関するお問い合わせ: 多賀城市市民文化創造課

TEL.022-368-2084

主催／多賀城創建1300年記念事業実行委員会

みちのおくの、一つの又は屹立する石を巡る物語

この多賀城の地に太古の昔から存在した「石」を巡り

陸奥国府 多賀城が創建されるまで

そして その延長線上にある現在と多賀城のよこび多き未来をつなぐ物語

Profile プロフィール

川島 素晴【作曲・指揮】



作曲家として、1992年秋吉台国際作曲賞、96年ダラムシュタット・クラニヒシュタイン音楽賞、97年芥川作曲賞、17年一柳慧コンテンポラリー賞等を受賞。「題名のない音楽会」等の番組に解説者として多数登場。日本作曲家協議会副会長。国立音楽大学、同大学院准教授。

オーケストラ 仙台フィルハーモニー管弦楽団



1973年創立。2023年には創立50周年を迎え、常任指揮者 高岡健、指揮者 太田弦のもとで充実した活動を展開し、新たな地平を切り拓いている。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、「杜の都」仙台を拠点にしながら東北地方を中心に年100回を超える演奏活動を展開。その豊かな音楽が広く人々に親しまれている。

オクサーナ・ステパニウツク【火の鳥/ソプラノ】



国立ウクライナ・チャイコフスキー音楽院声楽科、及び器楽科を首席にて卒業。1992年ウクライナのキエフ若い才能コンクール優勝を皮切りに国内外での多くのコンクールで優勝。その後NHKラジオ、テレビの番組に出演。2011年芸術分野におけるウクライナ功労賞を受賞。

工藤 あかね【荒吐姫/ソプラノ】



サントリー芸術財団「サマーフェスティバル」「Tokyo experimental festival」「Tête à Tête The Opera Festival(イギリス)」「MFJ音楽祭(アメリカ)」等に古楽、オペラ、現代に至る作品で出演。第1回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。シェンベルク/シュタイン編「月に憑かれたピエロ」の世界初録音が「レコード芸術」で特選録。

真鍋 尚之【箏】



伝統に根ざしながら独奏楽器としての箏の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で箏の魅力を飛躍的に発展させた。豊かな表現力で箏を自在に操る姿は「箏のパグニーニ」とも呼ばれ賞賛されている。洗足学園大学(専攻/作曲・声楽)および東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。

在原 泉【精霊 /アルト】



弘前大学教育学部音楽科を経て、岩手大学大学院修士課程修了。歌劇「さまよえるオランダ人(演劇会形式)」マリーでデビュー以降、「ヘンゼルとグレーテル」「ヘンゼル・魔女」「魔笛」「ゴッホ」オルロフスキーと幅広い役柄を演じ、表現力に富んだ声で聴衆を魅了している。宗教曲やベートーヴェン「第九」のソリストとしても活躍している。

村松 稔之【万葉歌人/カウンターテナー】



京都市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院を首席で修了。その後渡伊、ノヴァラG.カンテリ音楽院古楽声楽科で研鑽を積む。2022年10月にはヘンデルの歌劇「ジュリオ・チェザレ」ニレーノで新国立劇場へのオペラデビューを果たし高い評価を得る。村松稔之公式LINE: @toshiyukiで検索

松平 敬【大野東人/バリトン】



東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頌瑛、高橋悠治、西村朗、川島素晴など150曲以上の作品を初演、クセナキス、シュトゥックハウゼンなど、演奏至難な作品の日本初演も行う。サントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場などに出演。第32、34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞。

石井武【セキ】



「祈禱行為」を表現の延長線上にあるものと捉え、国や言語の壁を超えた舞踊の可能性を追求し続ける新時代を代表する舞踊家。現代舞踊の父・石井漠の曾孫として生まれ幼少より舞踊をはじめ、各地に伝わる民俗芸能や神話、信仰を独自に取材し、日本独自の土着的な動きや古典舞踊を基盤とした現代舞踊は国内外で高い評価を受ける。

中川 雅寛【巫女】



宮城県仙台市出身。日本舞踊家/中川流家元。歌舞伎俳優であり人間国宝の坂東玉三郎氏の私塾に最年少で合格し、8歳で上京。日本舞踊を中心に舞台全般を学ぶ。日本舞踊を坂東玉三郎氏・藤間勘め師に師事。東日本大震災後に故郷を想い帰郷し様々な舞台に出演。奥羽総津見盆踊実行委員会の代表を務め、防災を文化として地域に根付かせる活動にも力を入れている。

伊藤 哲哉【時の旅人】



制朋学園短大演劇科卒。テレビ・ラジオドラマ多数、黒澤明監督・伊丹十三監督の映画、蜷川幸雄・こまつ座・銀河英雄伝説シリーズ・前進座の舞台、小樽市能楽堂・ブーク人形劇場等で一人芝居、語り琵琶で耳なし芳一、小林敏也氏と宮澤賢治幻燈会、映画・テレビ番組・CMナレーション、イランの朗読フェスなどに出演。

脚本: BUNKA SOUZOU 演出: 志賀野桂一 振付・衣装: 中川雅寛・石井武 (ALCHEMIST)
映像: 渡辺拓弥 (il357) 舞台イラスト: 小林敏也 合唱: 多賀城オペラ合唱団
舞踊: 磯結夏、小澤早嬉、柴田真梨子、高嶋柚衣、横井栲歩、東北大学ダンスサークルWHO、多賀城市の子どもたち



アクセス

多賀城市民会館大ホール

(多賀城市文化センター内)

宮城県多賀城市中央2丁目27-1

駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

【電 車】JR仙石線・仙台駅乗車(料金片道240円)→20分→多賀城駅下車→徒歩10分→多賀城市文化センター

【自動車】仙台市中心部から国道45号・産業道路で約30分



多賀城創建記念

TAKAJO 1300th Anniversary
724 - 2024

多賀城創建1300年記念
特設サイトはコチラ!

<https://tagajo1300.com>

